

【就職懇談会報告】

平成 23 年度 就職懇談会 報告

企画委員 皿谷 弘樹(短大 1 回生)

記録的な暑さが続いた昨年とほとんど変わらない真夏日和の中で、夏休みで帰省していた学生にとっては厳しい現実に戻される国家試験と就職対策の懇談会が、学友会主催で平成 23 年 8 月 27 日(土)に新館大講義室にて開催されました。短期大学生のすべてが卒業したことで、4 年制大学生のみが対象となり 66 名の出席を得ることができました。

遠山 景子先生(64 回生)の開催趣旨説明に始まり、神澤 良明学友会会長(43 回生)の挨拶を頂戴したあと講師陣 5 名の紹介が司会進行を務める川光 秀昭企画委員長(54 回生)よりなされて懇談会の第一部として講演が始まりました。講演者の氏名、所属、発表テーマは次の通り。尚、記載は発表順です。

- ・風川 かおり(シーメンス・ジャパン株)短 11 回生 「メーカーにおける技師の役割」
- ・西田 高大(西宮市立中央病院)短 13 回生 「公務員になるには、就職活動するにあたって」
- ・長谷川 亮介(御池クリニック)短 14 回生 「検診業務の内容、メリットについて」
- ・谷 和紀子(神戸大学附属病院)短 19 回生 「神大病院の優れたところ 勉強編、遊び編」
- ・吉田 直基(神戸大学附属病院)大 1 回生 「就職の心得、国試対策」



風川氏は、病院とメーカー勤務の違い、マーケティング・アプリケーションとは、経営・法律・語学など医療以外の知識の必要性…など。積極性と基本の重要性を教えてくださいました。西田氏は、地方公務員の待遇について、技師会に加入しスキルアップを図ること、公務員になるためにすべきこと…など。公務員の給与明細や3次元画像の症例を見ながら技師の仕事の説明をいただきました。長谷川氏は、病院と検診の業務内容の違い、モダリティの種類と業務体制について…など。新人から最新、最高スペックのモダリティを扱うことになるので、スキルアップを怠らないようにしなければならぬことを教えてくださいました。谷氏は、勤務施設の待遇、設備、検査実績、人間関係、ロ

ケーション…など。毎日の仕事を楽しくするために遊びの面からもアプローチしていただきました。吉田氏は、就職の心得、仕事について、国試対策…など。情報収集、社会人としての自覚、ON-OFFの切替の重要性を教えていただきました。

会場からの質問には、「メーカー勤務希望だが、臨床経験があったほうがいいのか?」「検診業務のやりがいは?」「関東就職の何が厳しいのか?」「職場の先輩とうまくやる方法は?」などがあり講師とオブザーバーに自分の体験を通して丁寧に説明していただきました。

コーヒードリンクをはさんだ後、第二部として「あなたの疑問に答えます。」と題したQ&A方式の質疑応答の時間を設けました。これは卒業生アンケートと臨床現場の長の立場で重要とされる項目



をまとめたもので構成され、国試の勉強方法、就職の心得、面接の対応、給与など学生にとって有意義な情報ばかりで好評を得ていました。

昼過ぎから始まった講演も時間が夕刻となり、恒例の情報交換の場が室外のバーベキューコーナーに設けられました。西谷 源展先生(44回生)が食料調理、堀井 均先生(55回生)が汗だくになりながら炭おこしを準備していただいていたおかげで、速やかに神澤会長の乾杯音頭で第二幕が開きました。美味しい焼肉でお腹も少し満たされた頃になると、ビールを片手に持ちながら講師やオブザーバーの話を熱心に聞く学生の輪があちこちで見られるようになりました。大学施設内で、本学しかできない方法で交流が図れることの楽しさと有り難さを学生も卒業生も存分に感じていたことと思います。

最後になりましたが、懇談会のお手伝いをいただいた学友会の皆様、大学の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

以上

* 通巻 202 号 2012 年 1 月 10 日発行(H23-No.4)より